

2013年6月23日（日曜）

丸山・高見石・高千穂高原

レポート by 熊本（写真：熊本、高橋雄。小野寺、能勢）

当初予定の6月29日（土）から急遽前倒しした23日（日）に川島さん、小野寺さん、能勢さん夫妻、高橋雄さん、熊本の6名で北八ヶ岳山麓の麦草峠～丸山（2329m）～高見石～白駒池～信濃路自然歩道～高千穂高原自然園のコースを歩いてきました（約2万歩）。



東京駅 6:52 発 長野新幹線で佐久平へ

高崎から安中榛名にかけて奇岩・奇峰の妙義山や荒船山が良く見えたが、軽井沢付近では浅間山が雲に隠れて全く姿を現さなかった。



佐久平に8:21到着し、麦草峠行のバスを待つ



佐久平から8:35発の「麦草峠」行のバスに乗ったが、補助椅子もない20人程度のマイクロバスであった。



0:25 麦草峠に到着。上空に青空が広がっているが、約 2000m の標高があり、気温は 15 度位で涼しく爽やか。



紅い三角屋根の麦草ヒュッテを下に見ながら丸山へ向かう

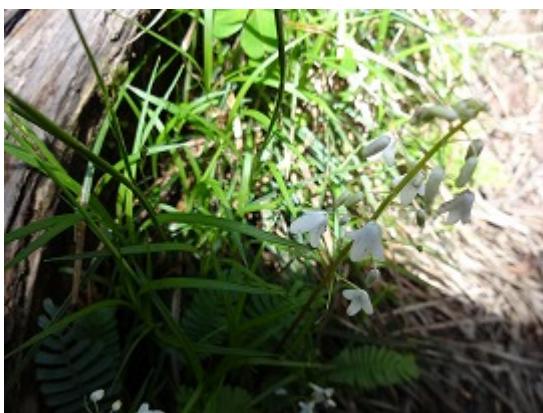


熊笹をかき分けながら



樹林帯に入ると一面。苔生した登山道となる。

丸山 XX 苔と言うらしい。



ケウツギ？



イチリンソウ？



登山道は赤茶けた大きな石のガレ場が続く、30分歩き一息入れる。



スタートから約1時間登り、分岐の標識
に出て、ここが丸山の山頂と思い、
記念の集合写真を撮る。



しかし、先程の分岐は山頂ではなく、
高見石方向に3、4分のところに、
2329mの丸山山頂があり、再度、記念
写真を撮り直す(11:53)。



丸山15分強下ったところに「高見石小屋」に到着(12:20)。
高見石の見晴の良いところで昼食と思ったが、石の上の飲食は禁止とのことで、小屋の前で昼食を取る。



昼食後、大きな石（2 m前後）の重なり
あつた石山のピークを目指す。



大きく足を振り上げないと登れない。
何処から登るか思案中。
上空は晴れていました。



高見石のピークからは展望が素晴らしい、眼下に「白駒池」が見える(12:55)。



慎重に高見石を降り、白駒池に向かって下山する。



下山ルートは大半に木道が敷かれている。



白駒池湖畔を左に 15 分歩いたところに、
青苔荘キャンプ場があり、ここで休憩
(13:45)。



ここから信濃路自然歩道を歩き八千穂
高原に向かう。



イチゴの花



ミヤマオダマキ



ベニバナイチヤクソウ



センニンソウ？



マイズルソウ



ギンリョウソウ



ゴゼンタチバナ



八千穂高原スキー場と駒出池が見えてきた。



八千穂高原自然園に向かって下る。



シャクナゲ



サラサドウダン



レンゲツツジ



ゲレンデが直ぐ近くに見えてきた
(15:10)。

上空には黒い雲が覆うようになり、嫌な予感。



スキー場に降りゲレンデを下る。



スキー場のゲレンデに咲くクリンソウ



上空からポツポツと雨粒が落ちてきた。

急いで下方に見えるレストハウスに向かう。



レストハウスは休業中で中には入れないが、入口は大きな庇が張出しており、ここに飛び込んだ瞬間に、夕立のように土砂降りとなり、幸いにも我々は一瞬のセーフ。

20数分ここで雨宿りし、小降りになつたところで、自然園に向かう。



バス出発時間まで 15 分程あり自然園隣のロッジで高原牛乳を飲み一休み。自然園の前のレンゲツツジ



16:20 発の最終バスで佐久平駅に戻り、

駅から徒歩数分にあるプラザ 21 の健康ランドで汗を流す。

湯上りにビールで締めくくりの乾杯！



1 時間ほど入浴休憩し佐久平発 19:10
あさま 546 号で帰路に着きました。

本日歩いたコースは日本苔類学会から選定された「日本の貴重な苔の森」だそうで、登山道は終始苔生していました。最後に夕立のような土砂降りがありましたが、皆さん的心掛けが良かったのか、高千穂スキー場のレストハウス（休業中）入口の屋根の下に飛び込み濡れずに済みました